

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募
新規企画支援事業 採択事業

事業名 主題	外国ルーツ青少年未来創造事業	
事業名 副題	外国にルーツをもつ子ども・若者の社会的包摂のための社会基盤づくり	
団体名	公益財団法人 日本国際交流センター	
代表者名	理事長	大河原昭夫
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	
事業の概要	学校教育や教育・就労支援を必要とする外国ルーツ青少年が増加しているものの、教育システム及び支援体制は不十分で地域間の格差も大きい。また、偏見、情報不足により地域社会・企業は将来への意欲をもつ外国ルーツ青少年の存在を十分に認識していない。高校進学率の低さや、非正規雇用の多さ等、孤立や貧困等の社会経済的な困難を抱えやすい外国ルーツ青少年のニーズに応える社会基盤作りが求められる。本事業は、複数の実行団体が協働してノウハウ・スキルを移転・共有することで取組みの地域格差や地域社会の認識不足の改善を図るとともに、当分野にかかわる制度・施策の変化に向けた政策提言を合わせて行う。	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	200,000,000
	PO関連経費	27,946,990
	評価関連経費	19,960,000
	合計	247,906,990

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・外国ルーツの青少年の現状と課題が明確に捉えられており、重要な課題として共感できる。 ・当該団体の過去実績（助成事業含む）を踏まえており、知見とリスク管理能力が高いと考えられる。 ・多くの日本企業がアジアでの採用を進めており、外国人にとって魅力ある街づくりは、企業や街づくりの観点から有用と考えられる。 ・本事業による支援対象数が当該分野全体から考えると限定的であり、そのインパクトの波及への工夫が望まれる。 ・社会的インパクト評価に経済的な側面への貢献も反映し、助成終了後の継続性につなげることが望まれる。 ・持続可能性に繋がる非資金的支援を具体化・強化していただきたい。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。